

日本語になった 外国語辞典

早稲田大学名誉教授

川本茂雄＝監修

三重大学教授

専修大学助教授

飯田隆昭・山本慧一＝共編

集英社

川本茂雄 (かわもと・しげお)

大正2年東京生まれ。早稲田大学文学部卒。
早稲田大学名誉教授。主なる著書として「言語学概説」「ことばとところ」。訳書としてヤーコプソン「一般言語学」チョムスキー「言語と精神」ホーレンシュタイン「ヤーコプソン—現象学的構造主義」など多数。

飯田隆昭 (いいだ・たかあき)

昭和11年東京生まれ。早稲田大学大学院英文学専攻修士課程修了。現在、三重大学教授。主なる訳書カミングズ「巨大な部屋」ルイス「ブルジョア・ボヘミアンたち(タブ)」など。

山本慧一 (やまもと・けいいち)

昭和6年滋賀県生まれ。早稲田大学大学院仏文学専攻修士課程修了。現在、専修大学助教授。主なる著書「フランス語熟語集」など。



昭和 58 年 6 月 20 日

初版第1刷印刷

昭和 58 年 7 月 10 日

初版第1刷発行

日本語になった外国語辞典

監 修 川 本 茂 雄

編 者 飯 田 隆 昭
山 本 慧 一

発行者 堀 内 末 男

印刷所 大日本印刷株式会社

発行所 株式会社 集英社

東京都千代田区一ツ橋2-5-10

電話 販売部 東京 (230) 6171

出版部 東京 (238) 2831

©1983

落丁・乱丁の際はおとりかえします

ISBN4-08-400261-5 C0581

内部交流

S61/30 (京) (日6-2/98)

日語中的外国語词典 T000470

は し が き

雑誌のページをめくっていたら、ある会社の人事担当者のことばが引かれていた——

近頃は、今まで大学の系列からいってもまったくハジバイだった人間が、40くらいで、突然昇格するなんて例がよくあるんですよ。

「ハジバイ」？ なんのことだろうと考えてしまった。しばらくして、「先輩」、「後輩」、「同輩」、「末輩」などが心に浮かんできて、これはどうやら「端輩」らしいと推量した。「端輩」は正式ならば、もちろん「タンバイ」であろうが、そこは多分に遊びを含んだ新造語であるから、「ハジっこ」の「ハジ」を探って、それに「輩」をつけたのである。出世街道の中央には進出できない輩(*)のことであろう。そう見当をつけて、文章の先を読みつづけると、推量はどうかのちのちのずれでもなさそうである。だが、推量は要するに推量である、いささかの不安が付きまとう。その正しさを裏付けてくれるような、また、もし間違いだったら正解を示してくれるような情報源（新語辞典）が手もとにあればなあ、と思う。しかし、今のところ、その願望は満たされていない。（もっとも、「ハジバイ」は一過性の新造語として辞典に載らないでおわるかもしれない）

社会が生き生きと動いているときには、ことばの上でも変化が激しい。新しい表現がぞくぞく登場し、そのうちのあるものは間もなく姿を消し、あるものは定着してゆく。そうした表現は漢字の新しい複合によったり、平俗な話しことばの組み合わせであったりするが、もう一つの重要な源泉は外来語、すなわち外国語からの借用である。こちらのほうは、はじめて接したとき、その意味を推察する手がかりが乏しく、しばしばまったくお手上げである。外来語辞典の完備したものが、是非とも必要である。

農機具の一種に「テラー」というのがあるようである。この語にはじめてお目に、そしてお耳にかかったとき、農作業にうとい私には、それがどういう種類の機具なのか皆目見当がつかなかった。ただ、その語尾の「ラー」は、どうやら英語の接尾辞——erらしいと見積もってみた。こうして tiller（耕耘機）を探りあてた。「ティラー」ではなく「テラー」となっていたので、探索に手間どった。「ティ」か「テ」かについていえば、昔の「父兄会」に代わって PTA という制度がアメリカから入ってきたとき、T を「ティー」といったふうに発音することが日本語にはなじまないで、一方では「ピー・チー・ユー」、他方では「ピー・ター・ユー」となって、まず広まった。それよりももっと古くは、歌謡曲に「ダンス・バーターの夜だった」という文句があった。これらが手がかりになって tiller に辿りついた。もう一つの農機具に「ハラー」というのがある。これは、テレビのコ

マーシャルの映像からみて「靱とり機」と判断されたので、hull（靱）を経て huller にまで廻ることができた。こうした詮索は、私のように外国語を職業としている者にはなんとかやり遂げることができるが、たとえば農村のお年寄りには無理な相談である。だから、外来語について簡にして要を得た辞典が必要である。

「エル・ピー（LP）」とか「アルバム」とかいう語は、オーディオの愛好家、したがって英語には縁遠くない向きにはおなじみの外来語である。けれども、これらの2つの語の意味用法がどこまで重なり合い、どこで相違するかとなると、これまた、外来語辞典の助けが必要になろう。最近の新聞には「コンパクト・ディスク（CD）」という用語が見受けられはじめた。持ち合わせの英語の知識でこれを「小型レコード」と訳しても、実体はとらえられない。溝のない、デジタル方式による録音の、再生に針を用いなくてレーザー光線で読みとる音盤である。こういうことは、外来語辞典ならば手軽に教えてくれる。

中堅の語学者山本慧一、飯田隆昭、曾根博義のお三方の編により、40名余に及ぶ学者の手になる『日本語になった外国語辞典』は、校正刷りで拝見して、収容項目の多量なことからも、説明のわかりやすさからも、現代社会の必要に十分にこたえる編纂物だと感じた。よって一文を草してその発刊を祝い、成功を祈念する。

1983年3月

川 本 茂 雄

〔原稿執筆・校閲〕
（五十音順・敬称略）

飯田隆昭	池永 毅	井関 隆	大山 尊子
岡田 譲治	岡田典子	岡部 朗一	小川敏満
小沢芳子	小田原譚子	片岡俊太郎	加藤主税
貴田 晃	斎藤健一	柴谷宗男	神保経彦
妹尾良和	曾根博義	武田英昌	武田雅子
田中繁太郎	辻谷泰志	殿岡道子	鳥居忠信
永島昌子	中村哲士	西川裕士	西野影四郎
羽多野正美	林 一	平井秀和	福井慶一郎
前島正安	真下孝夫	三浦 譲	宮川佳三
宮崎彰男	山口俊治	山田修治	山田佑次
山本慧一	吉田とも子		

この辞典の特色と使い方

1 編集方針

- (1) この辞典は、外国から入ってきた日本語として使われている言葉(外来語)を、現在まで定着していないが、今後、目にする機会が多くなっていくであろうと思われる一般的な新しい言葉までを、幅広く集めて編集した。

外来語が多く入ってきた時期は、大きく分けて、中世末から近世初期ころの西暦との交易開始期、明治以降の文明開化の時期、第2次世界大戦後の時期と引き続いて科学技術などの進歩が著しい現代という、3つの時期にまたがることである。

これらの時期を中心に入ってきた「外来語」を網羅するとともに、今後使われるようになるであろうと予想される使用頻度の高い「外国語」までもを収録した。このことは、従来の「外来語辞典」には見られない画期的な方針であり、本書の大きな特徴の一つでもある。したがって、書名も「外来語辞典」ではなく「外国語辞典」とし、「カタカナで引く外国語辞典」としても役立つように編集した。

- (2) 収録した項目は、日常生活だけでなく、マスコミに登場する言葉、ビジネス用語、政治・経済・文化・文芸・科学などのあらゆる分野の専門用語を広く採用した。また、人名・地名は、高校の教科書に出てくるものを一応の目安として項目を選り出した。

収録語数は、一般項目に人名・地名・作品名などを含めて36,000語(一般項目が34,000語、人名・地名などが2,000語)を選び、さらに巻末に略語2,500語を加え、総計約38,500語を収録した。

〈収録した項目の例〉

- a) 中世末から近世初期ころ(戦国時代から江戸時代初期)に入ってきた言葉の例。

タバコ、ラジャ、ガラス、キリシタン、カボチャ、カステラ など。

- b) 現在よく使われている新語の例。

インターフェロン、エアロビクス、オンブズマン、カントリー リスク、サマー レビュー、ジャズ ダンス、スピード ガン、ダウン ジャケ

ット、チア ガール、テクノロジス、ビデオディスク、カスビス、マイクログコンピュータ、スプー、ワード プロセッサ ー など。

- c) 外来語としては、まだ定着していないが、今後、目にする機会が多くなると予想される一般的な外国語の例。

アイランド、アンサー、インシュアランス、ウイダー、エプタマン、キャニオン、ロング ジュレーション、サンシャイン、ストリーム、ディーブ、トーク、ノース、バトル、ハリウッド、マウンテン など。

2 発音と表記

- (1) 外来語の発音は、慣用による日本語化した発音に従って表し、その表記は国語審議会が発表した「外来語の表記」に準拠した。

〈例〉 コーディネーション [coordination]

英語では(ko:rdi:nei:ʃən コウオーディネイション)と発音するが、日本語における一般的な言い方に従って、上のように記した。

- (2) V音(ドイツ語はW音)は、原則として「ヴ」系の文字を用いず、「バ」行音で表した。

〈例〉 [variety] ベラエティー (ヴァでなく)

[vision] ビジョン (ヴィでなく)

[vegetable] ベジタブル (ヴェでなく)

[voice] ボイス (ヴィでなく)

- (3) X音は原則として「クサ」「クシ」「クス」「クツ」の表記を採ったが、「キサ」「キシ」「キス」「キツ」と一般にいわれているものは、この表記で示した。

〈例〉 [exercise] エクスサイズ (キシでなく)

[boxing] ボクシング (キシでなく)

[express] エクスプレス (キスでなく)

[sexology] セクソロジー
(キソでなく)

(例外) 「text」 テキスト

「saxophone」 サキソホン

「exotic」 エキゾチック

- (4) ti, tu, di, du 音は、特に原音に近く発音する場合もあるが、多くは次のとおりを表した。

〈例〉 ti 音はチに

「ticket」 チケット

「romantic」 ロマンチック

(例外) 「tissue」 ティッシュ

tu 音はチュに

「tube」 チューブ

「tunic」 チュニック

di 音はディに

「dictionary」 ディクショナリー

「discount」 ディスカウント

「dinner」 ディナー

(例外) 「distemper」 ジステンパー

「dilemma」 ジレンマ

du 音はデュに

「duralumin」 ジュラルミン

(例外) 「education」 エデュケーション

3 見出し語

- (1) 見出し語の配列は50音順とし、長音はその発音がア列のものはア、イ列のものはイ、ウ列のものはウ、エ列のものはエ、オ列のものはオの重なりとみなした。

〈例〉 アース = アース
キーパー = キーパー
ズーム = ズーム
ベーム = ベーム
ローラー = ローラー

- (2) 清音・濁音・半濁音の順に配列した。

〈例〉 カーフ ホール コート
カーブ ボール コード
カーブ ボール ゴート

- (3) 同音の語でつづりの異なるものは、それぞれ見出し語とし、アルファベット順に配列した。

〈例〉 クローズ¹ [clause]

クローズ² [close]

クローズ³ [clothes]

- (4) 複合語については、同音の語(同じカタカナで表記するものや、同じ意味をもつもの)の次に漢字などを含み複合語を見出し語として配列し、そのあとに二語以上からなる複合語を配列した。なお、見出し語の意味を借りたりしてきた漢字を含む複合語は、～のようにもとなる見出し語の次に、副見出し語として配列した。

〈例〉 ガーター [garter]

～縋み

ガーター 勲章 [the Garter]

ガーター スネーク [garter snake]

- (5) つづりは、原則として日本に入ってきた時点でのものを採用した。なお、採用した外国語の大半は英(米)語である。原語に一つ一つ、これを明示するのはかえって混乱をきたすおそれがあるので、英(米)語に限っては国語名を省略した。また、つづりに英米の違いがある場合は、原則として米語のつづり字法を採用した。その他のものには、必ずその国語名を入れ、その表示の方法は略語一字で、次のようにした。

㊶ 和製語	㊴ 中国語
㊷ イタリア語	㊵ 朝鮮語
㊸ オランダ語	㊶ ドイツ語
㊹ ギリシア語	㊷ フランス語
㊺ サンスクリット (梵語)	㊸ ポルトガル語
㊻ スペイン語	㊹ ラテン語
	㊺ ロシア語

なお、略語ではわかりにくいものは、国語名を略号でなく、かなで全部表記した。

〈例〉 シャローム [(シャ) Shalm]
ラマ [(カ) blama]

- (6) 中国語と朝鮮語については、ローマ字つづりと相当する漢字を示した。中国語の発音はペキン式で示した。

〈例〉 ベーロン [㊴ feilong 飛竜]
チョゴリ [㊵ ja-go-ri 赤古里]

- (7) ロシア語については、アメリカ式のローマ字つづりにしたものを示した。

〈例〉 コルホーズ [㊴ kolkhoz]
レーニン [Vladimir Ilich Lenin]

- (8) 和製語と認められるものについては、㊴の略号の次に、そのもとなつた外国語を示した。ただし、それが転化・略・合成語などとして表されている場合には、解説を加えた。なお、和製語

は、一般に広く和製語と認められているものを中心に示したため、全部を網羅していない。

〈例〉 ゴールデン ウィーク [golden week]

アジピラ アジテーション [agitation] とビラ [bill] の合成語。

- (9) 商品名・会社名などは、つづりのほかに大文字を示し、解説中に「商標名」と示すか、「会社名」と表記した。

〈例〉 ウォークマン [Walkman] 携帯用の小型ステレオカセット再生機。商標名。

ゼネラル フーズ [General Foods Corp.] アメリカの食品会社名。

- (10) 人名については、原則として姓を見出し語として、フルネームをつづりで示した。つづりの次に、名の読み方と生没年を入れた。また、同姓が複数の場合は生年順に解説を配列した。

〈例 1〉 シューベルト [Franz Peter Schubert] フランツ・。1797～1828。

〈例 2〉 アナトール フランスのように、姓名をまわていうことが多い場合は、そのように見出し語を立てた。

アナトール フランス
[Anatole France] 1844
～1924。

4 解説文

- (1) 解説は、原則として常用漢字、現代かなづかいを用い、わかりやすく簡潔に示した。常用漢字表以外の漢字を用いたほうが理解しやすい場合には、() の中に読みを入れて、常用漢字表以外の漢字で表記した。
- (2) 解説の配列は、現在もっとも広く用いられていると考えられる意味を最初に置き、語源的な説明は後に回した。
- (3) その語あるいは語義の反義語は、③を用いて示した。
- (4) 一つの事物を表すのにいくつもの言い方がある場合は、それぞれを見出し語として表示し、参照すべき項目をゆで示した。
- (5) 解説が専門的用語である場合は、これを略語一字で示し、文の前に置いた。また、この略語は解説の補助として用いた。

専門語は、次のような略語一字によって表示した。

⑤ 医学・生理	⑥ 心理学
⑦ 印刷	⑧ 数学
⑨ 映画	⑩ 生物
⑪ 音楽	⑫ 政治
⑬ 化学	⑭ 地理・地質
⑮ 気象	⑯ 鳥類
⑰ 機械	⑱ 哲学
⑲ 魚類	⑳ 天文
㉑ スポーツ	㉒ 電気
㉓ 教育	㉔ 登山
㉕ 軍事	㉖ 動物
㉗ 経済・経営	㉘ 農業
㉙ 芸術	㉚ 美術
㉛ 演劇	㉜ 服装
㉝ 建築	㉞ 文学
㉟ 言語学	㊱ 法律
㊲ 広告・宣伝	㊳ 放送
㊴ 鉱物	㊵ 薬品・薬学
㊶ 電子計算機	㊷ 美容
㊸ 写真	㊹ 物理
㊺ 社会	㊻ 料理
㊼ 宗教	㊽ 歴史
㊾ 植物	

なお、スポーツについては、⑱(後に⑳)・(野球)などとして種目を付け加えた。ただし、種目が三つ以上にわたる場合は、解説中に代表的な種目を示すこととした。

〈例 1〉 カット [cut] ①削除。切ること。②切り取ること。③髪を切り整えること。④⑤裁断。⑥(野球)球に特殊な回転を与えること。一

〈例 2〉 解説の①、②、③のうち(同じ)専門的用語として扱う場合は、つづりの次に略語を置いた。

パワー ポリティックス

[power politics] ①武力による力関係を基盤にした外交政策。②権力政治。

5 重要略語

- (1) 巻末に、つづり字の頭文字などをアルファベットで表記した略語をまとめた。各種の機構・機関や会社名をはじめ、化学・薬品・経済・

軍事・宇宙・音楽などから幅広く選び、主要2,500語を収録した。

- (2) 略語のうち、アルファベットの組み合わせで、NASA(ナサ)、UNESCO(ユネスコ)などのように新しい発音になるものや、PCB(ピーシーピー)などのようにアルファベットの音をよく耳にするものは、一般の外来語として本文で取り扱い、

略語ではゆで示したものもある。

6 写真・図版

文章だけではわかりにくい項目で、写真・図版を入れたほうが理解しやすいものについては、できるだけ写真や図版を入れるように心がけた。

〔写真および資料提供〕

アメリカンセンター

家の光協会

池田製作所

石川島播磨重工業

指宿市役所

ウエノアートスポーツ

内田洋行

オーシャン潜水

大森成元

大竹ステンドグラス

岡村製作所

沖縄県東京物産観光事務所

オリンパス光学

海河丸

カナダ政府観光局

川崎重工業

気象庁

キャラバン

共同通信社

合同酒類

後楽園スタジアム

国際羊毛事務局

小松製作所

小松製作所(気象機器)

小松フォークリフト

桜井製作所

佐々木硝子

至誠学舎

時事通信

島津製作所

ジャックス

JAF出版社

新日本グライダー航空

杉野女子大学

西武鉄道

全国ボーリング協会

全日空

ソニー

ダイワスポーツ

タカラ

デザインルームエド

東京芝浦電機

東京測量術研究所

東京大学宇宙航空研究所

東京大学附属植物園

東京動物園協会

東京農業大学

東京動物公園

トミー

トヨタ自動車

日工精機

日産自動車

日本一輪車クラブ

日本ウインドサーフィン協会

日本オートキャンプ協会

日本楽器製造

日本ゲートボール協会

日本光学工業

日本航空スポーツ協会

日本サーフィン連盟

日本サルヴェージ

日本スケート連盟

日本ハモンド

日本ベッド製造

日本鐘道

日本ホルスタイン登録協会

日本モノレール協会

日本レクリエーションカヌー連盟

パール楽器

バイオニア

箱根登山鉄道

服部時計店

浜井産業

日野自動車販売

フォートキシモト

富士サファリパーク

富士写真フイルム

富士通

ブリコ楽器

ベルクススポーツ

北沢電機製作所

本田技研

松下電器産業

丸文

三井造船

三菱自動車

三菱重工業

三菱電機

メキシコ政府観光審議会

ヤマハ発動機

リコー

ワールドダーツ

渡辺堂

ア

アーガイル [argyle] ⇨ アーガイル チェック.

アーガイル チェック [argyle check] 襪靴下やセーターなどの編み物に見られるダイヤ形の色模様. スコットランド西部のアーガイル地方の格子柄から. アーガイル, ダイヤモンド チェックともいう.

アーガス [④ Argos] ①ギリシア神話で, 百の眼を持つ巨人. ②厳重な見張り人 アルゴスともいう.

アーカンソー [Arkansas] アメリカ南部にある州. 州都はリトル ロック. 農林業・鉱業が盛んで, アメリカ有数のダイヤモンド鉱山がある.

アーキオロジー [archaeology] 考古学.

アーキタイプ [archetype] ①原型. 模範. ②④個人の精神の中に先祖から引き継がれて存在する様々な無意識の観念.

アーキテクチャー [architecture] ①建物. 建築物. ②建築学. 建築術.

アーキテクト [architect] 建築家.

アーキトレーブ [architrave] ④台輪. 古典建築で, 柱の上に渡した台の部分.

アーキボルト [archivolt] ④装飾のある窓縁.

アーギュメント [argument] 議論. 論争.

アーク [arc] ①④電光. 電弧. 電流が切れた時, 電極間の細隙(すき)に強い電流が流れて生じる弧状の火花. ②③弧. 円弧. ③弧状や弓形のもの.

アーク灯 [arc lamp] 弧灯. アーク①の現象を利用して, 炭素やタンタラムなどで作った電極に電流を通して白熱光を出す電灯. アークランプともいう.

アーキティック オーシャン [Arctic Ocean] 北極海. ⑤アンタークティック オーシャン.

アーキティック ポール [Arctic Pole] 北極. ノース ポールともいう. ⑤アンタークティック ポール. サウス ポール.

アーク ファーニス [arc furnace] アーク放電による熱を利用した電気炉.

アークライト [Richard Arkwright] リチャード〜. 1732〜92. イギリスの発明家. 水力紡績機を発明した.

アークライト ファーニチャー [arkwright furniture] イギリス中世後期の家具.

アーク ランプ [arc lamp] ⇨ アーク灯.

アーケイズム [archaism] ⇨ アルカイズム.

アーケイック [archaic] ⇨ アルカイック.

アーケード [arcade] ①街路に屋根のような覆いを取り付けた商店街. 有蓋(2)街路. アーケード ストアともいう. ②④拱廊(きりり). 柱の上などに連続したアーチを使った構造物. 弓形の天井のある通路.

アーケード ストア [arcade store] ⇨ アーケード①.

アーゴノミックス [ergonomics] 人間工学. 工業デザインで, 人間の特性や能力に適合した機械を設計するための総合的な研究. ヒューマン エンジニアリングともいう.

アース [ASA] アメリカ標準協会. アメリカ規格. 特にアメリカ規格のフィルムの感光度指数をいう. American Standards Association の略.

アースー カラー [earthy color] ④地面のような色. 1970 年代の流行色の一つ.

アージェンシー [urgency] 緊急. 緊急事態. 切迫. 火急.

アージェント [urgent] 緊急の. 切迫した.

アース [earth] ①地球. 地面. ②④接地. 接地線. 電気器具と地面との間に銅線などで電路を作ること. またはその電路. ③接地. ロケットが地球に帰着すること.

アースク [ask] ①質問する. 尋ねる. ②頼む. 求める.

アースクエイク [earthquake] 地震.

アースクエイク インシュアランス

[earthquake insurance] 地震保険.

アースクエイク プルーフ [earthquake-proof] 耐震性の.

アース サイエンス [earth science] 地球科学. 地球とその周囲の惑星空間を科学的に研究する学問.

アース サテライト [earth satellite] 地球衛星. 地球の周囲を飛行する人工衛星.

アース シューズ [Earth shoes] 爪先



(註)のほうが、かかとよりも高くなっている靴の一種。商標名。

アース ダム [earth dam] 土を台形状に盛って築いたダム。

アース デー [Earth Day] 地球の日。1970年4月22日にアメリカで行われた環境保護運動の統一行動の日。

アース プレート [earth plate] ㊦ アース板。接地の目的で地面の下に埋める金属板。

アース マザー [earth mother] 母なる大地。

アースマン [earthman] 地球人。

アースワーム [earthworm] ① ㊦ ミミズ。② 卑劣な人間。

アーチ [arch] ① ㊦ 門や橋などの建築物で上部を弓形にした構造。またはその弓形になった部分。② 祝賀などに用いる門。③ ㊦ ホームラン。

アーチウエー [archway] 拱道(註)。拱路。アーチ道。

アーチェリー [archery] ㊦ 洋弓。洋式の弓矢を使って行う競技。

アーチザン [artisan] ㊦ アルナザン。

アーチスト [artist] 芸術家。㊦ アルナザン。

アーチ ダム [arch dam] 中央部が弓形に張り出した構造のダム。

アーチド ライン [arched line] ㊦ デザインで、肩や腰などの部分の弓形の線。アーチラインともいう。

アーチ トラス ㊦ arch truss ㊦ 弓形をした桁(註)構造。

アーチ ビーム [arch beam] 弓形をした梁(註)。船の甲板を支える横材などに用いる。

アーチビショップ [archbishop] ㊦ カトリックの大司教。プロテスタントの大監督。

アーチ ベンド [arch bend] スキー板の中央部の湾曲。

アーチ ライン [arched line] ㊦ アーチドライン。

アーティキュレーション [articulation]

① ㊦ 有節発音。分節。はっきりした発音。② ㊦ 子音。③ ㊦ 茎の節。

アールティクル [article] ① 新聞・雑誌などに出ている記事・論文。② 法令などの条項。③ ㊦ 冠詞。

アールティスティック [artistic] 芸術的な。巧みな。人工的な。優雅な。

アールティチョーク [artichoke] ㊦ ナチュ

ンアザミ。キク科の多年草で、ヨーロッパ原産。つぼみは食用となる。

アーティフィシャル [artificial] 人造の。人為的な。人工の。

アーティフィシャル アースクエイク [artificial earthquake] 人工地震。

アーティフィシャル インセミネーション [artificial insemination] 人工授精。人工媒精。

アーティフィシャル インテリジェンス [artificial intelligence] ㊦ 人工知能。人間の知能に似せて学習や推理する能力をもたせたもの。

アーティフィシャル オーガン [artificial organs] ㊦ 人工臓器。

アーティフィシャル キドニー [artificial kidney] ㊦ 人工腎臓(註)。

アーティフィシャル パール [artificial pearl] 人造真珠。

アーティフィシャル ライト [artificial light] ㊦ 人工光線。撮影用の照明として使うストロボやフラッシュなどの光。

アーティフィシャル ランゲージ [artificial language] ㊦ 人工言語。世界に共通する言葉。または特定の団体内にだけ通用する言葉として人為的に作られた言語。

アーティフィシャル レザー [artificial leather] 人造皮革。

アート [art] ① 美術。芸術。② 技術。人工。技巧。

アート紙 [art paper] 表面がすべて光沢のある印刷用の洋紙。写真版印刷の用紙などに用いる。アート ペーパーともいう。

アート グラス [art glass] 工芸ガラス。

アート コピー セッション [art copy session] ㊦ アート ディレクターとコピー ライターの会議。アイデアを具体的な広告表現にするために行う。

アート シアター [art theater] ㊦ 実験映画などを主に上映する映画館。

アート シルク [art silk] 人造絹糸。人絹。

アート スーパーバイザー [art supervisor] ㊦ 広告美術の管理者。アート ディレクターの広告制作を指揮する。

アート ソング [art song] ㊦ リート。

アート タイトル [art title] ㊦ 映画やテレビで用いる芸術的に表現した字幕。

アートタイプ [artotype] ㊦ コロタイプ。

アート ディレクター [art director] ① ②映画・演劇などで、衣装や装置などのデザインを担当する美術監督。②③広告美術の主に企画・制作面を担当する責任者。

アート バイヤー [art buyer] 主に商業美術の領域で、その制作に関連する情報の提供や人材の紹介を業とする人。

アート フォー アート [art for art] ② 芸術のための芸術。芸術の絶対的な価値を強く主張する芸術至上主義。

アート ペーパー [art paper] やアート紙。

アートマン [artman] ② ③インド哲学の一概念で、呼吸・自我あるものの本質・神などという。

アート ライニング [art lining] ② ③欧文活字の組み方の一つ。gやjやpなど下に出る部分のある活字をそろえて組む方式。

アート ロック [art rock] やニュー ロック。

アーネスト [earnest] ①まじめな。誠実な。貞剛な。②⇒アーネスト マネー。

アーネスト マネー [earnest money] 手付金。保証金。アーネストともいう。

アーノルド [Matthew Arnold] マシュー・〜。1822〜88。イギリスの詩人・批評家。「批評論集」「教養と無秩序」詩集「エトナ山上のエンベドクレス」などの著作がある。

アーバー [arbor] ①②園工作機械で切削用工具を付ける軸。②樹木の下の休息場所。③園樹木。

アーバニスト [urbanist] 都市計画の専門家。

アーバニズム [urbanism] ①都市性。都市に住む人々の文化や生活様式などの総称。②都市計画。シティプランニング、タウンプランニング、ウルバニズムともいう。

アーバノロジー [urbanology] 都市学。都市問題を研究する学問。

アーバノロジスト [urbanologist] 都市学者。都市問題を研究する人。

アーバン [urban] ①都市。都会。②都市の。都会の。都会に住む。③ルーラル。

アーバン ウェア [urban wear] ② 都会的であつた感覚の服。

アーバン ストラクチャー [urban structure] 道路、ガス、水道など、都市を構成するための基本的な要素・条件。

アーバン ソシオロジー [urban sociology] 都市社会学。近代社会における都市

問題を社会学的に研究する学問。③ルーラルソシオロジー。

アーバン タイプ [urban type] 都市型。都会型。③ルーラル タイプ。

アーバン デザイン [urban design] 都市設計。都市デザイン。都市計画の具体的な設計。

アーバン ライフ [urban life] 都市生活。都会生活。

アーバン ワーカー [urban worker] 都市労働者。都市の中に住居と職場をもつ労働者。

アービトレーション [arbitration] 調停。仲裁。裁定。

アービトロン [Arbitron] テレビの視聴率を自動的に記録する装置。アメリカのテレビ視聴率の調査会社であるアメリカン リサーチ ビューローが開発した。

アービング [Irving] ① [Washington 〜] ワシントン〜。1783〜1859。アメリカの作家。「スケッチブック」などの著作がある。② [Henry 〜] ヘンリー〜。1838〜1905。イギリスの俳優・劇場経営者。シェクスピア劇を得意とした。俳優として初めてサー(Sir)の称号を得る。

アーベント [Abend] ①夕方。②夕方から開催される音楽会・講演会などの催し物。③…の夕べ。

アーボレータム [arboretum] 研究・教育・観賞をするための樹木園。

アーマー [armor] ①よろいかぶと。②装甲鉄板。③④防護器官。〜工法 ⑤よい工法。鋼板の内側を掘り進むトンネル工法の一つ。

アーマチュア [armature] ② 電機子。発電機や電動機の発電子・電動子の部分。

アーマメント [armament] ①軍備。②軍隊。③武器。兵器。

アーマメント レース [armament race] 軍備拡張競争。特に第2次世界大戦後のアメリカとソ連の軍備拡張競争という。

アーミー [army] ①軍。軍隊。②陸軍。③海軍。

アーミー エア フォース [Army Air Forces] ② アメリカ陸軍航空隊。

アーミー カウンシル [Army Council] ② イギリス陸軍最高会議。

アーミー クロス [army cloth] 軍隊で



用いる毛織物の毛布や服地類。

アーミー コントラクター [army contractor] 軍隊に出入りする御用商人。

アーミー ブルー [army blue] アメリカ陸軍の制服の色と同じような青色。

アーミー ブローカー [army broker] 軍隊で用達をする仲買業者。

アーミー ルック [army look] ①ミリタリー・ルック。

アーミスティス [armistice] 休戦、停戦。

アーミスティス デー [Armistice Day] 第1次世界大戦の休戦記念日の旧称。11月11日に当たる。第2次世界大戦後、アメリカ、カナダではベテランズ デー (Veterans Day)、イギリスではリメンブランス デー (Remembrance Day) と改称した。

アーミューア [armure] 鎧かたびらに似た模様や形の紋織物。

アーミン [ermine] ①動物 オコジョ。イタチ科の哺乳(ほ)動物。②純白のオコジョの毛皮。

アーム [arm] ①腕。②腕状の物。③扇。④軍 腕木。⑤肘 トーン アーム。

アームズ コントロール [arms control] 軍備管理、軍備抑制。

アームストロング [Armstrong] ① William George ~ [ウィリアム・。1810 ~ 1900、イギリスの技術者。蒸気を用いた発電機を考案したり、アームストロング砲や高圧水力機などを発明した。② [Louis ~] ルイ・。1900 ~ 71、アメリカのジャズ・トランペット奏者・歌手。ニュー・オーリンズ生まれで、愛称サッチモ (Satchmo) で知られる。

アームストロング砲 [Armstrong gun] ウィリアム・アームストロングが発明した、連射が可能な破壊力の強い鋼鉄製大砲。

アーム スリット [arm slit] ①腕 ケーブなどで腕を出けようにした裂け目。

アームチェア [armchair] ①ひじ掛けいす。

アームド サービス [armed services] ①アームド・フォース。

アームド フォーシズ [armed forces] ①陸・海・空の3軍からなる軍隊。アームド・サービスともいう。

アームホール [armhole] ①洋服のそでぐり、またはその寸法。

アーム モーション [arm motion] 腕の振り、腕の振り方。

アーム リフター [arm lifter] レコード盤

への針の上下動きを自動的に行う装置。

アーム リング [arm ring] ①腕のあたりに手首につける輪や鎖などの装身具。

アームレスト [armrest] ①座席、机などのひじ掛け。②レコード・プレイヤーのトーン・アームを乗せる台。

アームレット [armlet] ①腕の付け根の間に付ける腕輪・腕飾り。②小口に短く、

アーム ロック [arm lock] ①(柔道)相手の腕をねじ上げて動かないようにする技。

アーメン [amen] キリスト教徒の祈りや賛美歌の結びなどに用いられる言葉「そうであるように」の意。

アーモンド [almond] ①硬扁桃(ごうぼん) モモに似たバラ科の落葉高木。小アジア原産で、その種子は食用・薬用になる。アマンダ、アマンダウともいう。②アーモンドの種子の形に似たもの。③やや灰色がかった緑色。

アーモンド オイル [almond oil] アーモンド油。アーモンドの種子から採れる油で、香油や潤滑油などに用いる。

アーモンド チョコレート [almond chocolate] アーモンドが実に入っているチョコレート。

アアラ [AALA] アジア、アフリカ、ラテンアメリカ (Asia, Africa, Latin America) の略。

アアラニヤカ [Aranyaka] 森林書。インド最古の聖典「ヴェーダ」の一部。

アアランガー [Joseph Erlanger] ジョセフ・。1874 ~ 1965、アメリカの神経生理学者。神経繊維の研究に尽くした。1944年ノーベル生理・医学賞受賞。

アアリアン [Aryan] インド・ヨーロッパ祖語を用いる民族。

アアリー [early] 早い、初期の。

アアリー アメリカーン [Early American] 初期アメリカ風の家具・建物などの様式。

アアリー イングリッシュ [Early English] ①初期イギリス式。13世紀ごろのイギリスで発達した初期ゴシック建築の様式。

アアリー バード [Early Bird] アメリカが1965年に打ち上げた商業用の通信衛星。「早起き鳥」の意。インテルサット1号ともいう。

アアリー リタイアメント [early retirement] 若年定年。

アアリマン [Ahriman] ①ゾロアスター教の悪の神。善の神アフラ・マズダとともに世界の二元になるといわれている。

アーリントン国立墓地 [Arlington National Cemetery] アメリカのバージニア州アーリントンにある墓地。1864年に設立した。無名戦士の墓をはじめ、南北戦争以降の多くの戦没者の墓や、ケネディ大統領など知名人の墓所の記念物などがある。

アール [are] ①メトリック法の面積の単位の一つ。1アールは100㎡。記号はa。

アール [earl] イギリスの伯爵。

アール [R:r] ①アルファベットの第18文字。②[r]の半音・割合・比を表す記号。③[R]の底。④[R]の電線線の強さを表す記号r。⑤

アール エッチ因子 [Rh factor] ①赤血球に含まれる因子。Rh陰性の人にRh陽性人の血液を輸血すると、溶血現象を起して危険な症状を呈する。

アールヌーボー [art nouveau] ①新芸術。20世紀初頭フランスを中心に起こった美術様式の一つ。自由な曲線や曲面を多く取り入れているのが特徴。ヌーボーともいう。

アールベルグ スキー [Arlberg ski] ①(オーストリアのアルプス地方で考案されたスキー技術の一つ。前かがみの滑降姿勢などを特徴とする。

アアント [aunt] おば、おばさん。

アアンド インカム [earned income] ①勤労所得。

アアンド ラン [earned run] ①(野球) 自責点。野手の失策ではなく、安打・四死球・犠打・盗塁など、投手の責任で相手チームに与えられた点。

アイ [eye] ①目。②視力。③眼識。④マジック・アイ。

アイ [I; i] ①アルファベットの第9文字。②私。③電流を表す記号。④虚数単位。⑤(化学) 元素(イ) (iodine) の元素記号。

アイアール [IR] 情報検索。研究開発や経営管理に関するいろいろな資料から必要な情報をいつでも素早く取り出すこと。インフォメーション・リトリバル (information retrieval) の略。

アイアイ [aye-aye] ①ユビダル。アイアイ科の哺乳動物。マダガスカル島北東部だけにすむ。大きな目と耳、細長い指が特徴。

アイアコス [Aiakos] ギリシア神話で、死者の国の裁判官。ゼウスの子でアキレスの祖

父。イーアコスともいう。

アイアン [iron] ①鉄(金属) ②鉄。鉄製品。③鉄。鉄製品。

アイアン エージ [Iron Age] ①鉄器時代。②ギリシア神話の鉄時代。金・銀・銅の各時代に続く最も退廃した時代。③末世。

アイアン オー [iron ore] ①鉄鉱石。鉄の成分を含む鉱石。

アイアン カーテン [iron curtain] 鉄のカーテン。第2次世界大戦後のソ連を中心とする東ヨーロッパ諸国側の秘密主義や厳重な検閲などによる思想的・政治的な断絶を、比喩的に表した言葉。

アイアン クロス [Iron Cross] ドイツ帝国の鉄十字勲章。

アイアン サンド [iron sand] 砂鉄。

アイアン ディシプリン [iron discipline] 鉄則。軍律などのように絶対に破てはならない規則。

アイアン ラング [iron lung] ①鉄の肺。小児麻痺(ポリオ)患者などの呼吸を助けるのに用いる鉄製の人工呼吸器。

アイアン ロー [iron law] ①厳しい規則。鉄の規則。②アイアン ロー オブ ウェッジ。

アイアン ロー オブ ウェッジ [iron law of wages] ①賃金鉄則。賃金は生活の維持に必要な最低の金額に収まるという原理。アイアン ローともいう。

アイイー [IE] ①インダストリアル エンジェリング。

アイウィットネス [eyewitness] 目撃者。アイウinker [eyewinker] 目に入ったゴミなどの異物。

アイウォッシュ [eyewash] ①目薬。

アイエムエフ [IMF] 国際通貨基金。1944年のブレトン・ウッズ協定に基づいて設置された国際金融の協力機関。International Monetary Fund の略。

アイエルオー [ILO] 国際労働機関。労働条件の改善などを目的とした国連の専門機関の一つ。第1次世界大戦後のベルサイユ条約に基づいて1919年に設立された。46年に国連の専門機関となる。International Labor Organization の略。

アイオーシー [IOC] 国際オリンピック委員会。オリンピック運動のために、1894年フランスのクーベルタン侯爵の提議によって設立された。本部はスイスのローザンヌ。International

Olympic Committee の略。

アイオーブナー [eyecopener] ①目をみはらせるような事実や事件。②朝、頭をすっきりさせるために飲む酒やコーヒー。

アイオーユー [IOU] 借用証書。I owe you. (私は君に借りがある) の略。

アイオダイン [iodine] ⑧ 沃素(はり)。非金属元素の一つ。元素記号は I。

アイオリ [aïoli] ⑧ オリーブ油を使ったニンニク入りのソース。

アイオロス ④ Aiolos] ギリシア神話で、風の神。海神ポセイドンの子とされる。

アイオワ [Iowa] アメリカ中北部に位置する州。州都はデモイン。トウモロコシ栽培が特に盛んな農業州。

アイガー [Eiger] スイスのアルプス連峰の一つ。標高約 3,970 m。山容の美しさでアルプス 3 山の一つに数えられる。またその北斜面の登攀(は)の難しさでアルプス 3 大北壁の一つに数えられる。

アイカップ [eyecup] 硼酸水(は)などを入れて用いる洗眼用のコップ。アイバスともいう。

アイカメラ [eye camera] 視線の動きを捕らえて記録する装置。広告効果の分析や注視点の測定などに用いる。

アイギス [aegis] ①ギリシア神話で、ゼウスがアテナに与えた神の盾。②保護。後援。

アイキャッチャー [eye catcher] ④ 人目を引くための広告宣伝用の絵やデザイン。

アイキュー [IQ] ⑧ 知能指数。知能の発達程度を示す数値で、検査で判明した精神年齢を生活年齢で割り、100 倍したもの。インテリジェンス クォーティエント (intelligence quotient) の略。

アイク¹ [Van Eyck] ⇨ ファンアイク。

アイク¹ [Ike] ⇨ アイゼンハワー。

アイコニクス [iconics] イメージ学。

アイコノクラスト [iconoclast] 偶像破壊論者。因習打破主義者。

アイコノクラズム [iconoclasm] 偶像破壊。偶像破壊主義。因習打破。

アイコノスコープ [iconoscope] ⑧ 被写体の像と電流に変えるテレビ映像用の真空管。1933 年アメリカで発明され、テレビ発展の基となった。現在はオルシコンを使用している。

アイコン [icon] ⇨ イコン。

アイサービス [eyeservice] 雇い主の前でだけよく働いてみせること。

アイサイト [eyesight] ① 視力。視覚 ② 視界。視野。

アイシー [IC] ⑧ 集積回路。電子回路の個別部分から配線までを一つの基板上に一貫して製造した超小型の回路。インテグレートッド サーキット (integrated circuit) の略。

アイシービーエム [ICBM] ⑧ 大陸間弾道弾。最大射程距離が 8,000 km 以上のものをいう。intercontinental ballistic missile の略。

アイシェード [eyeshade] ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆

ンデュー、ウォーター アイスともいう。

アイス キューブ [ice cube] 冷蔵庫で作る角状の氷片。 ロック アイスともいう。

アイスキュロス 〔㊤ Aischylos〕 前 525～前 456。古代ギリシアの詩人。3大悲劇詩人の一人で、「縛られたプロメテウス」「オレストイア」などの作品がある。

アイス クリーム [ice cream] 牛乳を主原料として、砂糖・卵黄・香料などを加えてからクリーム状にして凍らせた氷菓子。 アイス、クリームともいう。

アイス クリーム コーン [ice cream cone] 穀物の粉でできた、アイス クリームを入れる円錐形をした容器。 コーンともいう。

アイス クリーム サンデー 〔㊤ ice cream sundae〕 果汁、チョコレート、刻んだクルミなどを載せたアイス クリーム。 クリーム サンデー、サンデーともいう。

アイス クリーム ソーダ [ice cream soda] ⇨ クリーム ソーダ。

アイス クリーム フリーザー [ice cream freezer] アイス クリームを作る冷凍装置。

アイス コーヒー [iced coffee] 氷などを入れて冷やしたコーヒー。 ㊤ホット コーヒー。

アイス シート [ice sheet] 氷床。 極地などで見られる広い氷原。

アイス ショー [ice show] アイス スケートによって行われる氷上での舞踊・曲芸などの見せ物。

アイス スケーター [ice skater] アイス スケートをする人。

アイス スケート [ice skating] ㊤ 氷上をスケート靴で滑走する競技。

アイス スマック [ice smack] アイス クリームを薄いチョコレートで包み、棒状などの形にした菓子。 スマックともいう。

アイス ダンシング [ice dancing] ㊤ (㊤)フィギュア競技で、1組みの男女が音楽に合わせて氷上で踊るように滑走する種目。



〔アイス ダンシング〕

アイス ティー [iced tea] 氷などを入れて冷やした紅茶。

アイス テクニク [ice-technique] ㊤ 氷や凍結した雪の斜面に登攀(は)り、下降する技術。

アイストレイン [eyestrain] 眼精疲労。目の使い過ぎによる疲れ。

アイス トング [ice tongs] 氷ばさみ。

アイスバーグ [iceberg] 氷山。

アイスハーケン 〔㊤ Eishaken〕 ㊤ 氷壁に登攀(は)する時に用いるくさび。

アイスバーン 〔㊤ Eisbahn〕 凍結して氷のように硬くなった雪面。

アイスバイン 〔㊤ Eisbein〕 ㊤ ドイツ料理の一種で、豚の足を煮込んだもの。

アイス バッグ [ice bag] 氷嚢(は)り。

アイスハンマー 〔㊤ Eishammer〕 ㊤ 氷壁に登攀(は)する時に用いる鉄で作ったハンマー。

アイス ピック [ice pick] 氷を突き穿(く)つたもの(鉋)。

アイス フォール [ice fall] 氷瀑(は)り。滝のように切り立った氷河の急傾斜部分。

アイスブレイカー [icebreaker] ①氷を砕く道具。 ②砕氷船。 アイスボートともいう。

アイス フロー [ice floe] 浮氷。 海上に浮かぶ小氷原。

アイス ペール [ice pail] 卓上用として使う氷入れ。

アイス ベルト [ice belt] 砕氷船で喫水線に沿って特に補強してある外板の部分。

アイス ポイント [ice point] ⇨ フリージング ポイント。

アイスボート [iceboat] ①氷上を滑走するように帆を取り付けた小型のボート。 ②⇨アイスブレイカー②。

アイスボックス [icebox] 氷で冷やすことができるようにした携帯用の箱型容器。

アイス ホッケー [ice hockey] ㊤ 6人ずつの2チームがスケート靴を履いて行う氷上ホッケー。 カナダの国技。

アイスラン [ice run] ①川に張った氷が雪解けなどで不意にひびが入ったり砕けたりすること。 ②㊤リュージュ種目用の氷のコース。

アイスランド [Iceland] アイスランド共和国。大西洋と北極海の間にある島からなる。気候は寒冷である。牧畜と酪農が盛ん。首都はレイキャビク。通貨単位はアイスランド クローネ。英語での呼称は Republic of Iceland。

アイス リンク [ice rink] 屋内のアイススケート場。スケートリンクともいう。

アイゼン [⑤ Eisen] ① 凍結した雪面などで、登山靴の底に付けて滑り止めに用いるのがつめのある鉄製の金具。シュタイクアイゼン (Steigseisen) の略。クランボンともいう。② 鉄。



〔アイゼン①〕

アイゼンハワー [Dwight Eisenhower] ドワイト・1890~1969。アメリカの軍人・政治家。第2次世界大戦中は、連合軍総司令官を務める。戦後、NATO 軍最高司令官などを経て、第34代アメリカ大統領となる。愛称アイク (Ike)。

アイソクロン [isochrone] 同時線。等時線。基点を定め、そこからの交通機関の所要時間が同じ地点をつなぐように、同じ特徴のある全部の地点をついて表した線。

アイソスタシー [isostasy] ④ 地殻均衡。地球内部のある深さでは、地殻に加わる圧力が均衡を保っているという理論。

アイソタイプ [isotype] 絵文字言語。簡略な絵や図形に一定の意味をもたせて、事物を視覚化した記号言語。標識や統計図表などに用いる。international system of typographic picture education の略。

アイソトープ [isotope] ④ 同位元素。原子番号は同じであるが、質量数が異なる元素。一般には放射性同位元素を指していることが多い。

アイソトープ カメラ [isotope camera] ⇨シンチレーション カメラ。

アイソバー [isobar] ④ 大気圧の等しい部分を結ぶ等圧線。

アイソポス [④ Aisopos] ⇨イソップ。

アイソメトリックス [isomethotics] 筋肉強化のための訓練法。アメリカの海兵隊が採り入れている。

アイソレーションニズム [isolationism] ④ 孤立主義。他国家との協約・同盟などを拒んで、自国だけの繁栄と平和を追い求める政治的立場。

アイソレーション [isolation] ① 孤立。

分離。隔離。② ④ 絶縁。

アイソレーション ブース [isolation booth] ④ テレビスタジオ内の訪客室。マイクからの生の音声などを放送用に調整する所。

アイソレット [isolate] 未熟児・早産児。用のガラス製の保育器。イソレット、インキューベーターともいう。

アイダホ [Idaho] アメリカ北西部にある州。州都はボイシ。ロッキー山脈西麓(北)の山岳地帯にあり、農業・牧畜・観光業が盛ん。特にジャガイモの代表的な産地として知られる。

アイディア [idea] ① 考え。思い付き。着想。② 一般的な観念。思想。③ ヲイデー。

アイディア マン [⑥ idea man] 新しい着想・計画などを次々に思いつく人。

アイディアリスティック [idealistic] ① 理想主義的な。理想主義の。② ④ 観念論的な。唯心論的な。

アイディアリスト [idealist] ① 理想主義者。理想家。② ④ 観念論者。唯心論者。

アイディアリズム [idealism] ① 理想主義。② ④ 観念論。唯心論。

アイディアル [ideal] ① 理想的な。非現実的な。② ④ 観念に関する。観念論的な。唯心論の。

アイディアル ガス [ideal gas] ④ 理想気体。ボイル・シャルルの法則に一致する仮定の気体。パーフェクト ガスともいう。

アイディアル タイプ [ideal type] ⇨イデアル タイプス。

アイ ディー カード [ID card] ① 身分証明書。アイデンティティ カード (identity card)、アイデンティフィケーション カード (identification card) の略。② ④ 放送の前後に映す、局名や提供者を表示するカード。ステーション アイデンティフィケーション カード (station identification card) の略。

アイ ティー ビー [ITV] 工業用テレビ。一般放送用ではなく、工場や商店の作業などに用いるテレビ。インダストリアル テレビジョン (industrial television) の略。

アイデオロジスト [ideologist] ① イデオロギー研究者。② ヲイデオログ。

アイディリック [idyllic] 牧歌的な。田園生活風の。

アイディル [idyll] ① ④ 田園詩。牧歌。田園生活の美しい風物や挿話を描いた物語詩。② ④ 田園詩。パストラルともいう。